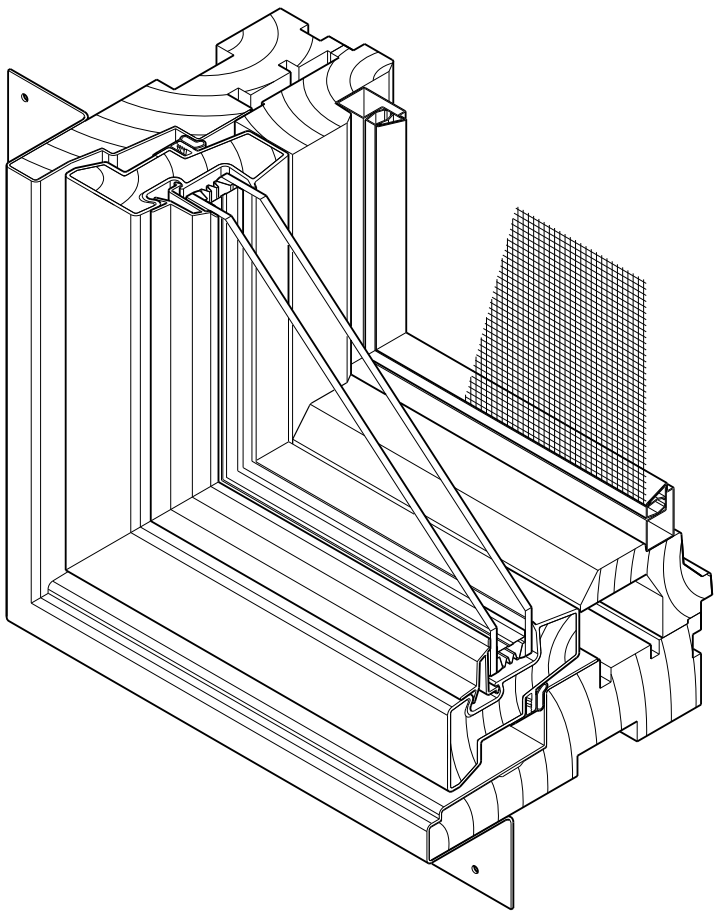
お施主さま用

アンダーセンウィンドウ

取扱い説明書



警　告

このたびはアンダーセンウィンドウをご採用いただきましてありがとうございます。この取扱い説明書を読んで理解するまでは、使用およびお手入れは行わないでください。この説明書は、ご使用中にご不明な点や、お手入れ方法などをいつでも調べられるように大切に保管してください。

目　次

目　次……1
安全について……2
商品使用上のご注意とお願い……2
操作方法（格子の取付け・取外し）……3・4
調整方法（戸車の調整）……4
ガラス清掃時の操作……5
網戸について……6
ガラスの破損について……6
お手入れ方法……6

安全について

警告用語の種類と意味

警告用語は、危険度の高さ（または事故の大きさ）に従って、次の2段階に分類しています。
以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）をお守りください。

警告用語	意　　味
⚠ 注 意	**潜在する危険な状態**を示し、手順や指示に従わないと、**中・軽傷を負う**場合、または当社の製品以外の財産に影響を及ぼす場合に使用されます。
お 願 い	特に注意を促したり**強調**したい情報で、指示に従わないと**機器の損傷・故障**につながる場合に使用されます。

商品使用上のご注意とお願い

⚠ 注 意

●網戸によりかかったり、押したりしないでください。網戸が外れて人が落ちると事故（人損･物損）につながります。

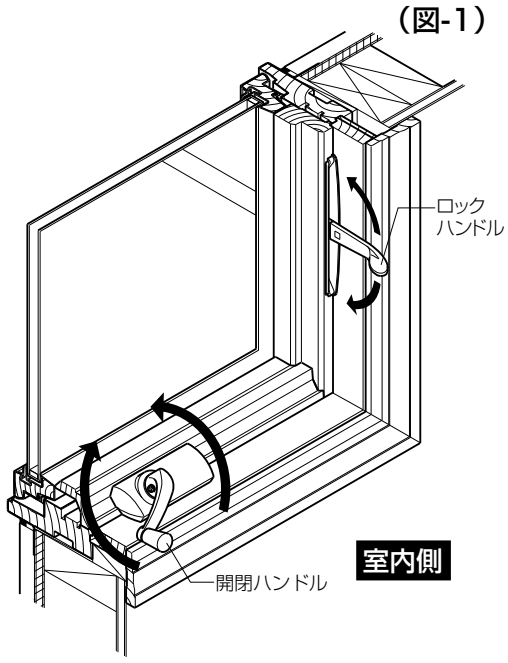
【網戸下部に付いている警告ラベルの内容】

窓　　種	内　　容
ケースメント（縦すべり出し窓）･オーニング（横すべり出し窓）･グライディング（引き違い窓）･ダブルハング（上げ下げ窓）	網戸は窓からの子供の落下を防止できません。 子供は開いた窓から離してください。
ダブルハング（上げ下げ窓）	上の窓のみを開けてください。

お 願 い

●風の強い時は窓を閉めて、必ず施錠してください。窓が飛ばされたり、急激に開閉すると事故やけがにつながります。
●開閉操作はゆっくり行ってください。急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。
●気密性がきわめて高いので適宜、換気を行ってください。
●クレセントおよびハンドルの施･解錠は、最後まで確実に行ってください。半掛かり状態でガラス障子を開閉すると、ガラス障子･クレセントが破損するおそれがあります。
●ケースメント（縦すべり出し窓）、オーニング（横すべり出し窓）は気密ロック（サッシロック）を外してから開閉ハンドルを廻してください。ロックしたまま廻すと、故障の原因になります。
●薄膜フィルムの種類によっては、ガラス表面部分に急激な温度変化を生じガラスが割れることがあります。フィルムは張らないでください。
●複層ガラスを使用していますが、そのときの湿度や換気条件によっては、結露する場合があります。カーテンなどが濡れるおそれがあります。

（図-1）



操作方法

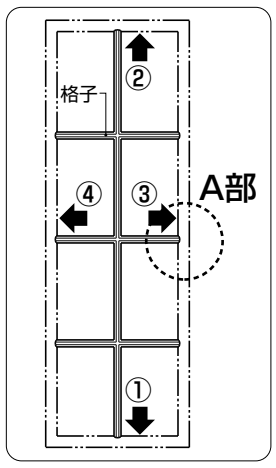
■格子の取外し、取付け

ケースメント（縦すべり出し窓）・オーニング（横すべり出し窓）

取外し 各格子の先端部をつまみ、手前に軽く引っ張り、障子框のスリットから格子を取り外します。

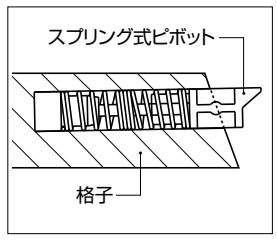
取付け
（図-2）

①下桟方向スプリング式ピボットをスリットに差し込みます。
②上桟方向をスリットに差し込みます。
③片側の縦框のスリットに差し込みます。
④格子本体を③方向に押しながらガラス面に押しつけ、スプリング式ピボットをスリットに差し込みます。

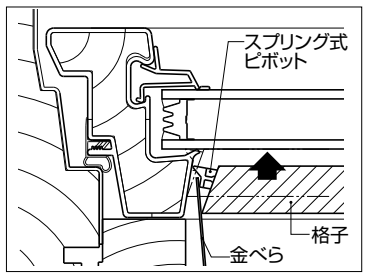


（図-2）

（A部詳細図）



※最後に差し込むスプリング式ピボットが障子框のスリットに入れにくい時は、金属べらなどをガイドにして、ピボットの先端を格子に押し込みます。（図-3）



（図-3）

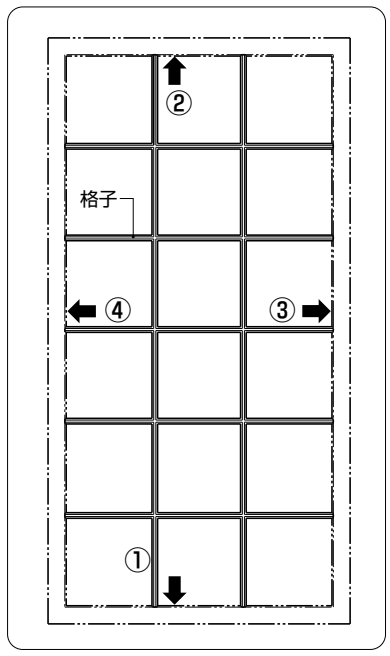
グライデイング（引き違い窓）・パティオドア（片引きテラス）

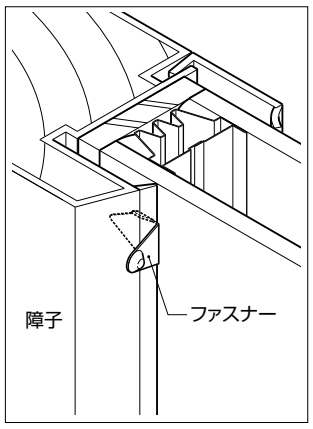
取外し 各格子先端をつまみ、手前に軽く引っ張り、ファスナーから格子を取り外します。

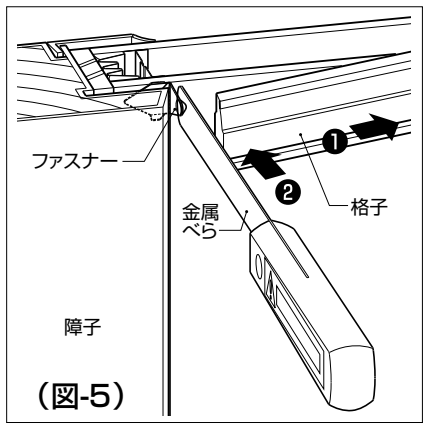
取付け
（図-4）

①下桟方向ファスナーに格子先端部を合わせます。
②上桟方向を連結します。
③片側縦框方向を連結します。
④格子本体を③方向とガラス面に押しつけて、ファスナーと連結します。

（図-4）



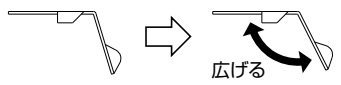




（図-5）

※❷の方向の格子が入りにくい時、ファスナーと格子先端との間に金属べらなどを靴べらを使う要領ではめ込みます。（図-5）

（図-6）



※取り付けた格子がゆるい時、ファスナーの角度を広げます。

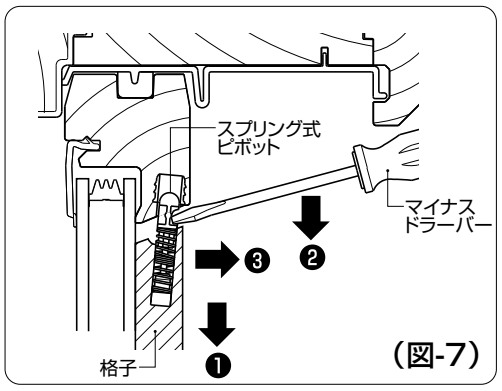
ダブルハング（上げ下げ窓）

取外し
（図-7）

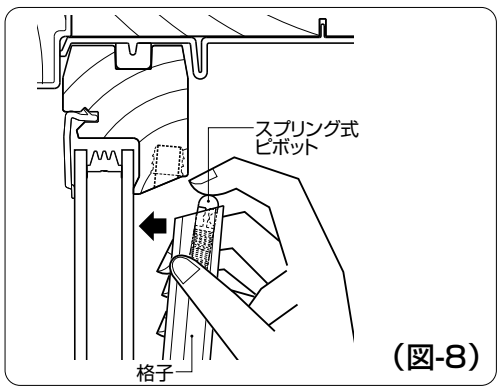
①上桟方向のスプリング式ピボット（以下、「ピボット」と言う）を上桟の穴より外します。
❶格子本体を下向きに押し、❷マイナスドライバーなどの先端がとがったものでピボットを下げます。❸次に格子を手前に引っ張り、框の穴より外します。
②縦框も同じ要領で外し、格子全体を取り外します。

取付け
（図-8）

①下桟方向のピボットを下桟の穴に差し込みます。
②縦框方向も同様に差し込みます。
③もう一辺の縦框ピボットの先端を指先で押し込みます。そのままガラス面に格子を押しつけ、ピボットを障子框の穴に差し込みます。
④上桟方向も③と同じように差し込みます。



（図-7）



（図-8）

調整方法（戸車の調整）

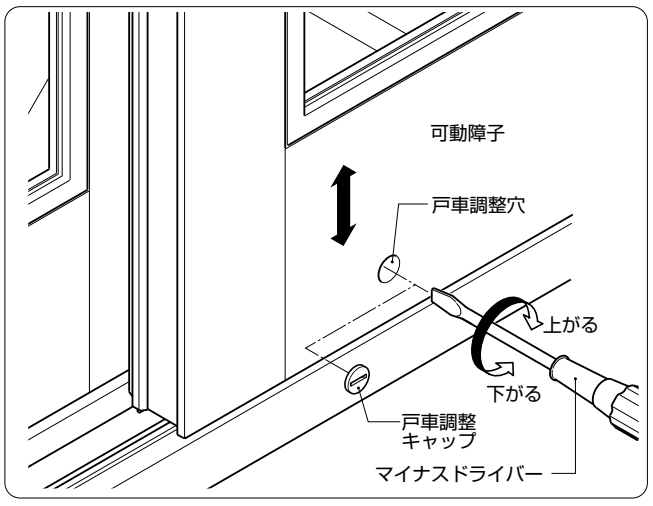
パティオドア（片引きテラス）

●ドア本体と枠との透き間が均等でない場合

①戸車調整キャップをマイナスドライバーで外します。
②マイナスドライバーを差し込み、調整します。

↷右…障子が上がる。
↶左…障子が下がる。

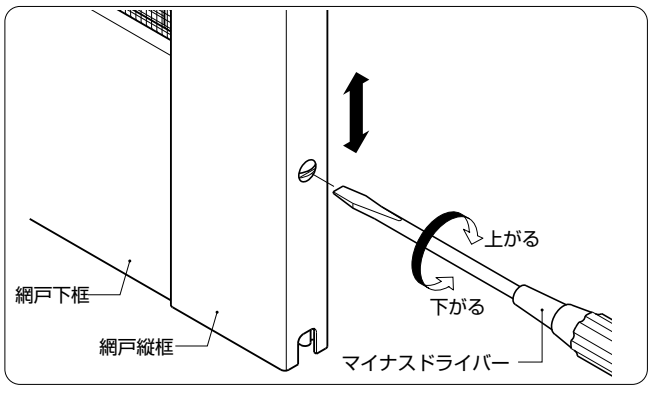
※ロックボタンとロックピンの高さが違う場合は、ロックピンの高さを調整して合わせます。



パティオドア（片引きテラス）網戸

●網戸框とドア縦枠との透き間が均等でない場合

①網戸下部にマイナスドライバーを差し込み、高さを調整します。

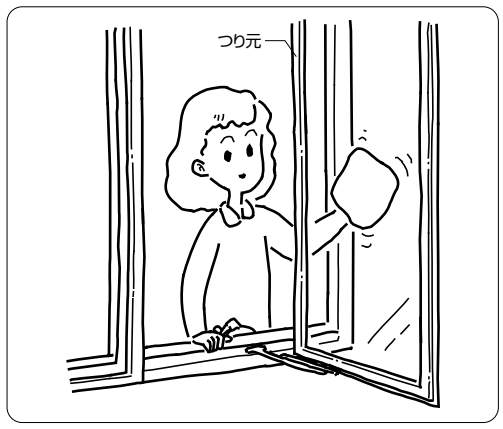


その他のサッシの調整……**建設会社メンテナンス担当者にご相談ください。**

ガラス清掃時の操作

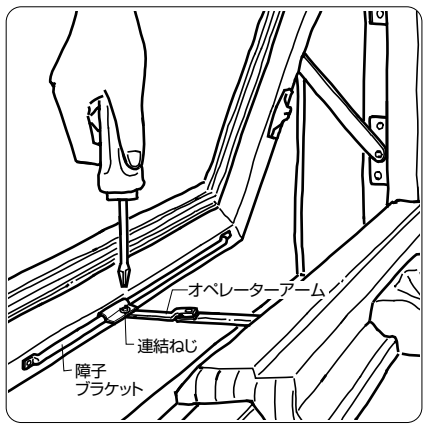
ケースメント（縦すべり出し窓）

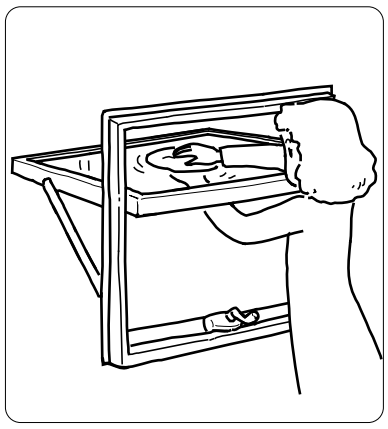
①オペレーター（回転式）ハンドルで障子を90°まで開きます。
つり元側に約12cmの透き間ができます。
②透き間より清掃してください。



オーニング（横すべり出し窓）

①オペレーターアームと障子ブラケットの連結ねじを外します。
②障子を水平になるように動かすと、約10cmの透き間ができます。
③片手で障子を支えながら、透き間より清掃します。

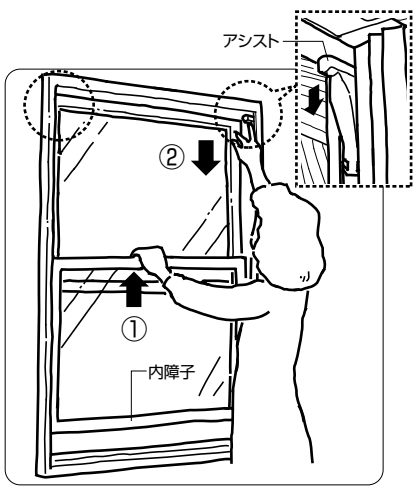


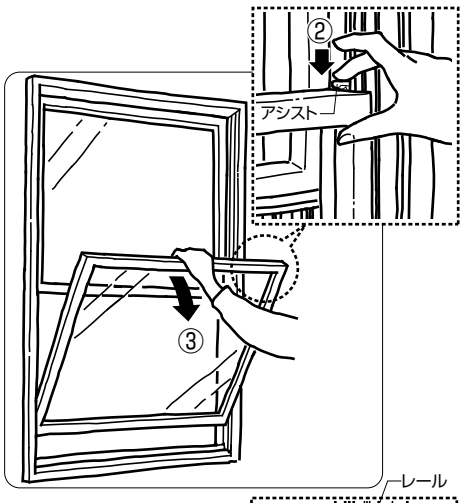


ダブルハング（上げ下げ窓）

内障子

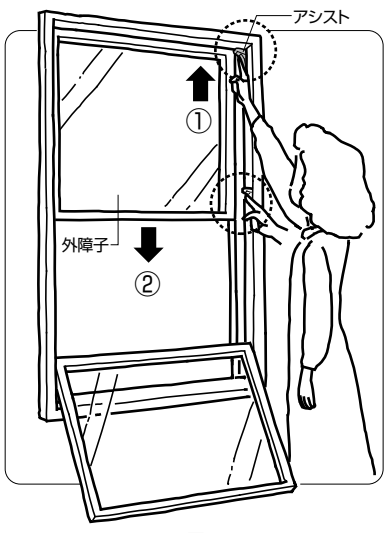
①内障子を10cmほど引き上げます。
②上部コーナー（左・右）のアシスト（樹脂製のくさび）を図のように下げ、内障子と枠の間に強く押し込みます。
③内障子が浮き上がりますので、手前に引いて外し、掃除をしてください。

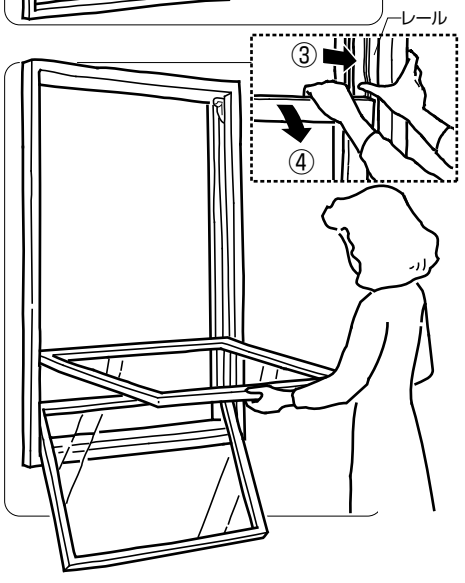




外障子

①アシストを上部コーナー（左・右）まで戻した後、
②外障子を中間の位置まで引き下げます。
③右側のレールを手で強く押し付け、外障子をレールから外した状態にします。
④左側のレールを強く押し付けながら、外障子を手前に引いて外します。





MAG-440
2-980331.①.⊗

トステム株式会社
本社　〒136-8535東京都江東区大島2-1-1

●この商品に関するお問い合わせ先　商品相談室　TEL(03)3638-8181 FAX 012-012-6001

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

ご用命は